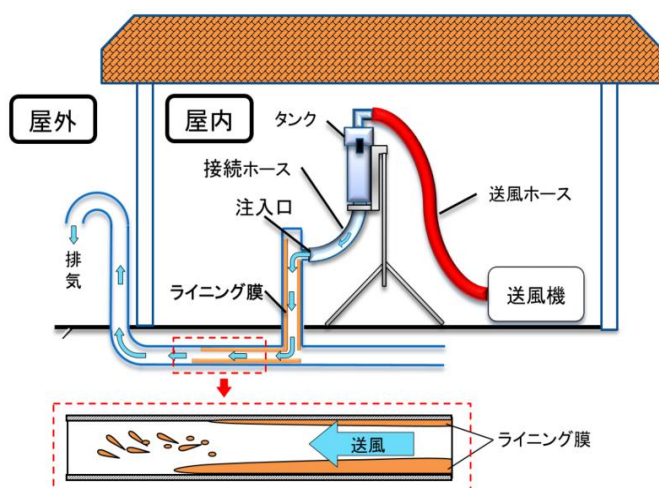


ガス管の内面から漏洩箇所の応急修理が可能な気流式ライニング工法 E S 工法（Emergency Seal 工法）

ガス管の内面に送風機の気流を用いて液体樹脂を流し込み、漏洩箇所にライニング膜を形成させる応急修理工法です。壁裏や床下などの隠ぺい部に配管されていて、直ぐに入替えができないガス管の応急修理に最適です。

【施工イメージ】



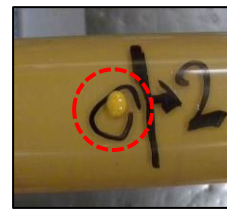
【ライニング状況】



直管部および継手部



埋設部



露出部

【適用範囲】

適用区分	灯内内管、灯外内管、供給管
圧 力	低圧
管 種	鋼管
口 径	15A～50A
延 長	～15A：12m まで 20A～50A：30m まで
配管系	ソケット、エルボ、バンド、チーズ、コケ他
漏洩量	露出部：微量漏れ（想定孔～ $\phi 0.8$ mm） 埋設部：制限なし（想定孔～ $\phi 10$ mm）
温 度	5℃～40℃

【使用樹脂】

エポキシ系 2 液混合タイプ樹脂（主剤・硬化剤）



①梱包状況



②開封



③混合



④混合後

【特長】

- ・ 灯外内管と灯内内管の応急修理を、E S 工法ひとつで施工が可能です。
- ・ 壁裏や床下などの隠ぺい部に配管されていて、直ぐに修理ができないガス管の応急修理に最適です